

目的

1. 複数箇所での災害発生を想定し、複数地点かつリアルタイムで災害状況が確認できるか検証
2. 津波の発生等を想定した避難工法をドローンで円滑に実施できるか検証
その際複数言語にも対応できるか検証

実施内容

■ 9月20日：兵庫県・阪神地域防災訓練

下記2か所でのドローン3機同時飛行とドローンによる避難広報、
「Hec-Eye」を活用したリアルタイム映像中継を実施

- ①三田市立母子小学校：被害状況調査用ドローン1機
- ②尼崎市立中央中学校：避難広報用ドローン1機／映像配信用ドローン1機

■ 11月5日：兵庫県津波一斉避難訓練

下記3か所でのモバイル端末からのリアルタイム映像中継と
南あわじ市立松帆小学校でのドローンによる避難広報訓練
及びリアルタイム映像中継を実施

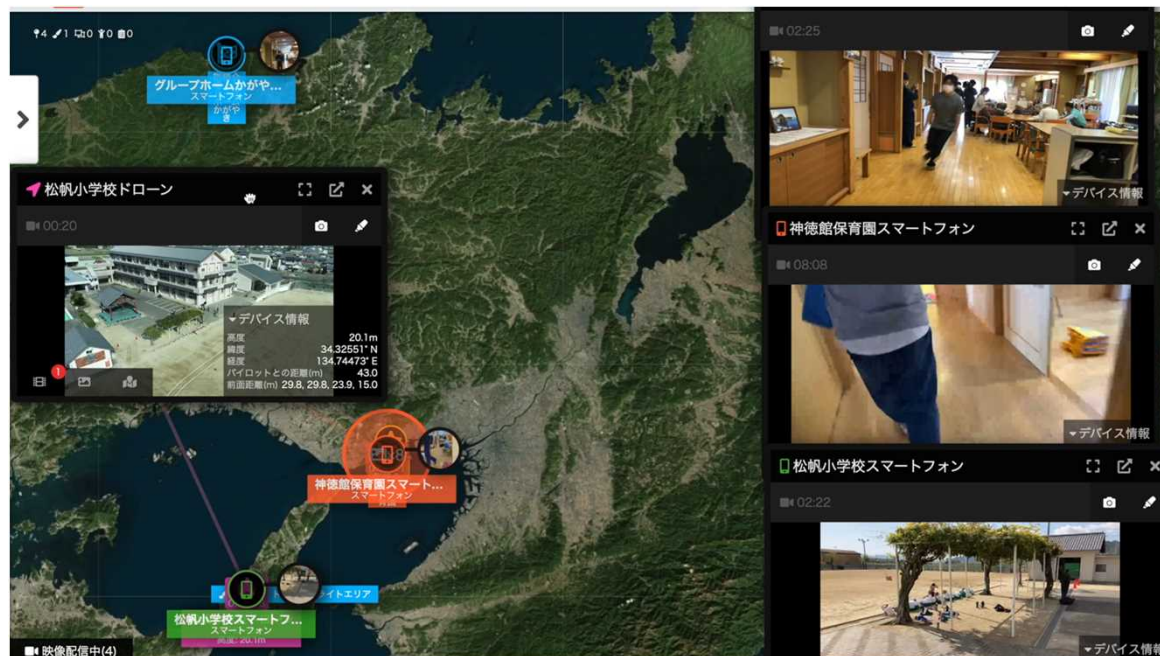
兵庫県庁災害対策課で中継映像を確認

- ①南あわじ市立松帆小学校
- ②グループホームかがやき（香美町）
- ③神徳館こども園（神戸市）



成果

- 避難広報ドローンは昨年の課題であった多言語化をクリアし、複数個所での同時飛行もスムーズに実施
- ドローン、スマートフォンともに問題なく映像と位置情報中継を複数拠点で実施
- Hec-Eyeの地図登録機能や報告機能を活用しての拠点間の情報連携も実現
- アプリでの報告は実際に現場の職員にて簡単に行うことが可能



※兵庫県津波一斉避難訓練でのHec-Eye画面キャプチャ

【県内5県民局でのドローン及びHec-Eye利活用セミナー】

参加者数：118人（5回中3回はオンライン開催）

- ドローンの活用事例や法規制など兵庫県及び県内市町の職員に説明
- リモートでのデモンストレーションを通じてHec-Eye各種機能や他地域での事例（防災以外）も伝えることができ、各地域での活用イメージを持ってもらうことができた